

長野県デジタル化一貫支援サイト説明会

アジェンダ

1. デジタル化一貫支援体制整備事業について :5分
2. 中小企業におけるIT活用トレンド・実用的なITツール紹介 :5分
 - DX・デジタル化の必要性、実用的なツールの長野県での導入事例
3. 長野県デジタル化一貫支援サイトとその機能のご紹介 :15分
 - サイト全体像（情報収集機能／相談機能）
 - サイトの活用方法
 - ソリューションカタログ、デジタル化・DX推進事例
4. 最後に・質疑応答 :5分



1 | デジタル化一貫支援体制整備事業について

「デジタル化一貫支援体制」の整備

長野県の新総合5か年計画の8つの新時代創造プロジェクトの一つ



8つの新時代創造プロジェクト

- 1 女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト
- 2 ゼロカーボン加速化プロジェクト
- 3 デジタル・最先端技術活用推進プロジェクト
- 4 個別最適な学びへの転換プロジェクト
- 5 人口減少下における人材確保プロジェクト
- 6 世界で稼ぎ地域が潤う経済循環実現プロジェクト
- 7 県内移動の利便性向上プロジェクト
- 8 輝く農山村地域創造プロジェクト

03 デジタル・最先端技術活用推進



デジタル化による暮らしの利便性と産業の生産性向上を

デジタル・最先端技術を徹底的に活用・展開し、どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を実現します。県内全てのIT企業が開発型ビジネス形態や他産業との伴走型ビジネス形態に転換することで、高付加価値を生み出します。

リーディングアクション例

◆県内全産業のDX*推進のため、県内IT企業と連携し、企業のニーズの掘り起こしから技術導入まで一貫して伴走支援する体制を整備。

「長野県デジタル化一貫支援体制整備事業」

デジタル化一貫支援体制 一貫通貫の支援により県内産業のデジタル化を促進
整備事業費

[070302]



(1) 汎用性の高いデジタル機器等の 情報提供及び周知

〔カタログに掲載するツールのイメージ〕

- ・タブレット型POSレジ
- ・セルフオーダー
- ・清掃ロボット …



各種業界団体等と連携し、汎用的なデジタルツールによる県内事業者等の省力化を支援するとともに、デジタル化の機運醸成から現状把握、導入支援に至るまでの一貫した支援体制を整備します。

(2) WEB上のプラットフォーム構築 及び一貫支援体制の整備

- ・デジタル活用講座、セミナー情報
- ・IT導入補助・融資制度
- ・IT専門家、IT企業情報(NIX連携)

- ・導入により省力化や生産性の向上が期待できるデジタル機器等の情報を県内事業者等に提供
- ・デジタル化に関する各種支援策等をまとめたWEB上のプラットフォームの構築
- ・デジタル製品の導入事例セミナーの開催やデジタル診断ツールを用いた経営診断の実施
- ・専門人材によるデジタル化に関する相談対応、プラットフォームを活用した支援策とのマッチング支援

(R6予算書抜粋)

2

中小企業におけるITトレンド・ツール紹介

DXの必要性や実用的なITツールの県内導入事例

中小企業におけるIT活用トレンド

DXの推進には、大きく**3つの段階**がある
経営指導員として各社の実態/考え方にあわせて、推進手法を選択

デジタル トランスフォーメーション

デジタイゼーション

脱アナログ

アナログデータのデジタル化

(事例) 紙の帳票を
Excelデータ化

デジタライゼーション

生産性向上

業務のデジタル化

(事例)
単純なExcel作業自動化
(RPAの導入)

ビジネス変革

顧客起点で
ビジネスを変革

(事例)
既存サービスに顧客が
求める機能を追加し、
新たなビジネスモデルに

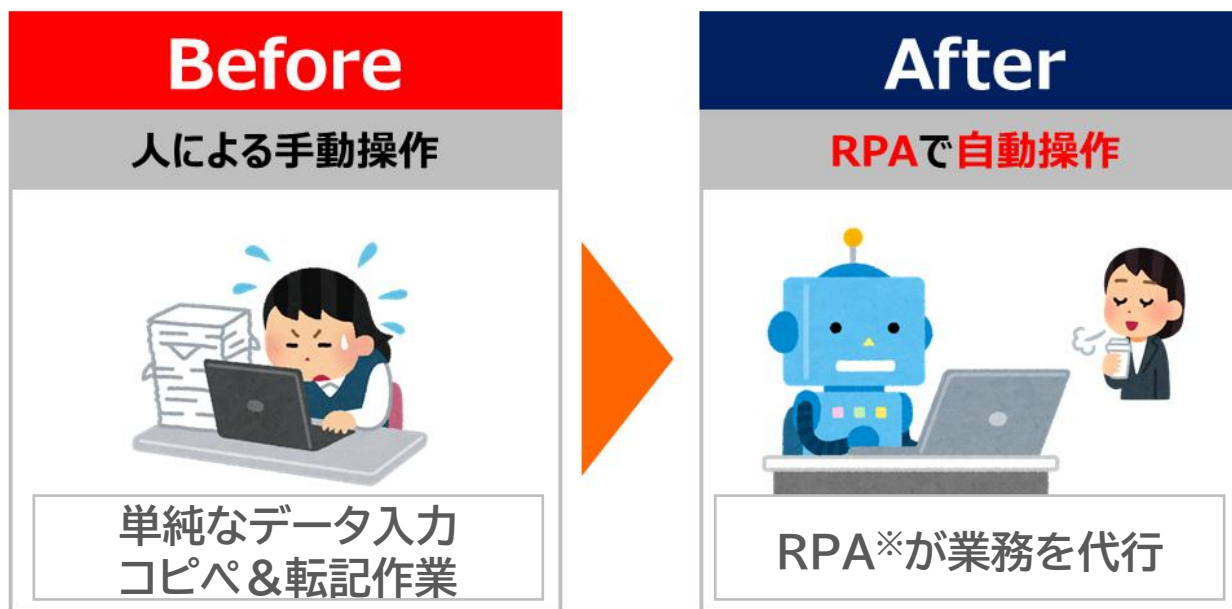
中小企業におけるIT活用トレンド

手書きで作成していた作業書を
デジタルデータ(Excel)に移行



中小企業におけるIT活用トレンド

単純なExcel作業を RPAを活用して自動化



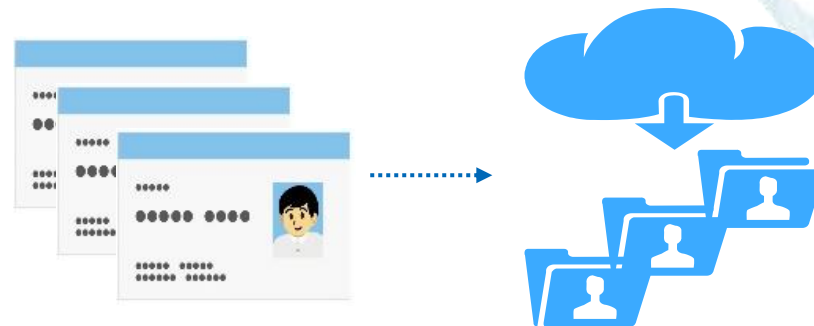
※RPA:繰り返し作業等の定型作業を自動化するツール

中小企業におけるIT活用トレンド



名刺を紙で管理

名刺(紙)をデジタルデータ化



プラス

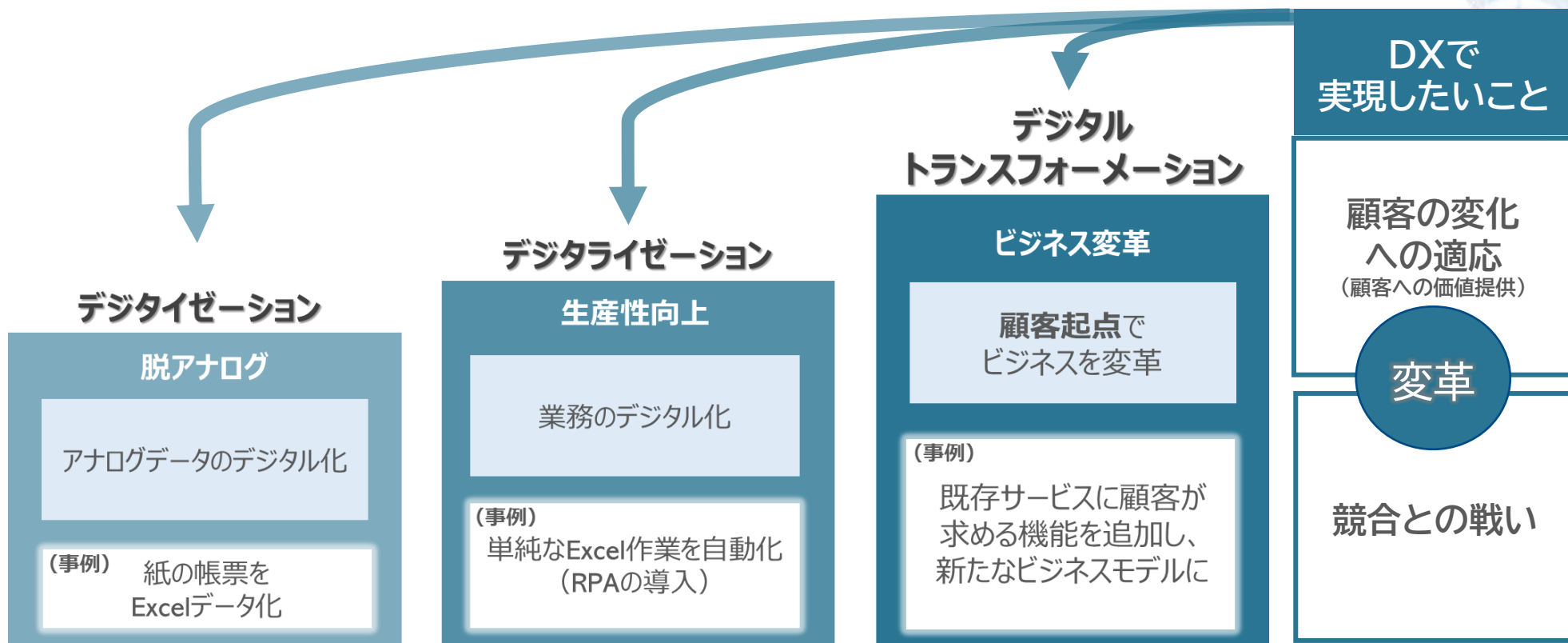
- ・名刺をデータとしてクラウドで保存
⇒スマホからいつでも、どこでも確認可能
- ・名刺をデータ化し、全社で人脈を共有
- ・交換先企業の会社情報や過去経歴等も紐づけして確認可能
⇒営業データとして活用可能

営業・マーケティングデータとして活用

※引用:sansan社IR資料よりNTTDXパートナー作成

中小企業におけるIT活用トレンド

「DXで実現したいこと」を検討してから、推進することが大切



中小企業におけるIT活用トレンド

お客様に届けたい価値の検討から着手
=どこに向かって変革するべきかかの議論から始める

まずここからスタート

顧客の変化への適応

競合との戦い

お客様に、従業員に
どんなメリットを
感じてほしいか

次に具体的な方針・内容を検討

ビジネスモデルのデジタル化

製品・サービスのデジタル化

業務(業務フロー)のデジタル化

プラットフォームのデジタル化

長野県内企業のデジタル化事例①

- 長野市で穀物関連の加工・卸を行う企業では、受注・受付・加工・納品までの一連を「紙」で実施しており、煩雑に感じていた。



相談者:加工部門の責任者

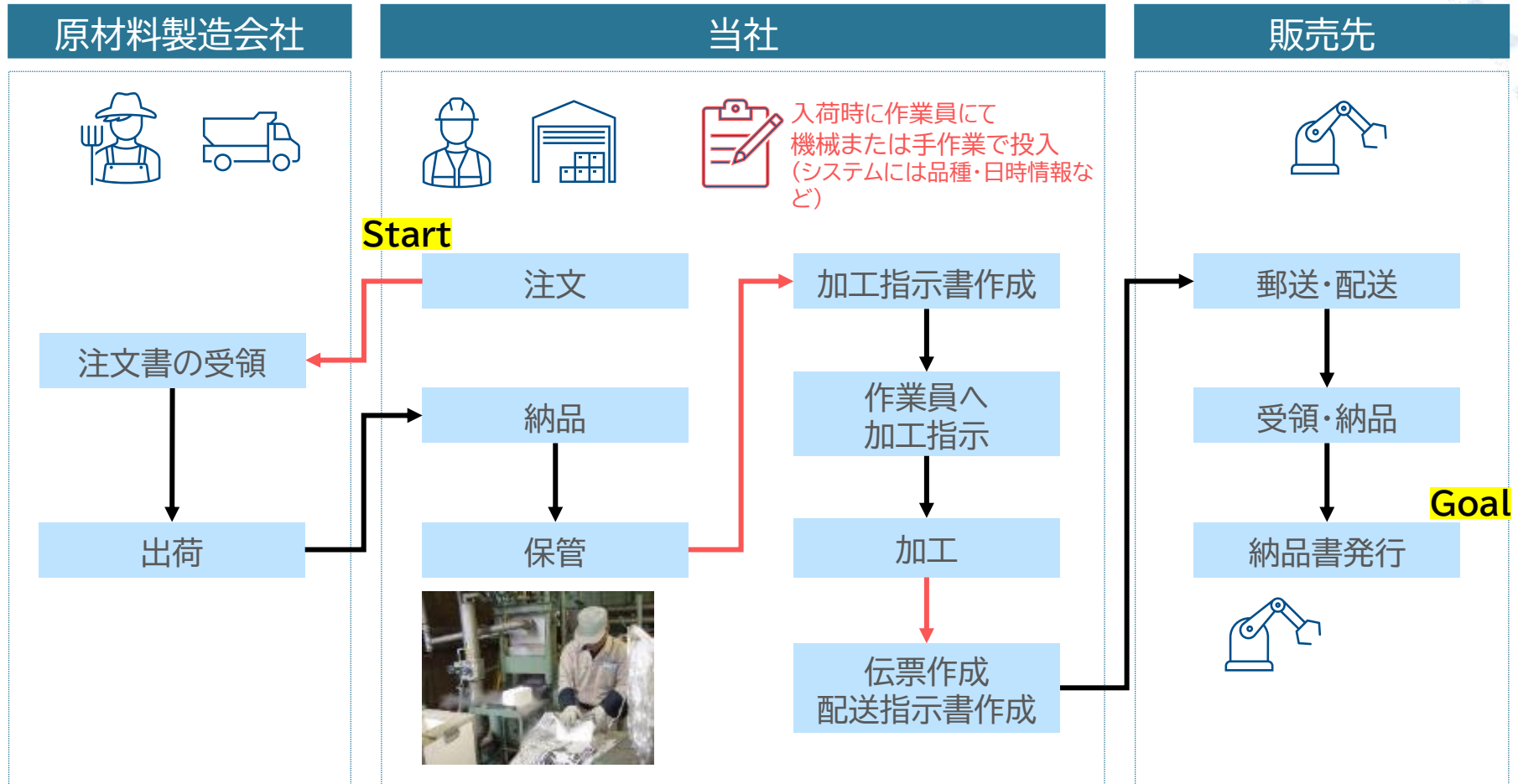
【相談内容】

- ① 受注・受付・加工・請求・納品までの一連をすべて紙で実施しており、とても煩雑。
- ② ベテランの勘や、言語化されていないノウハウが多く、事業承継に不安。
- ③ 取引先も昔ながらな企業が多く、デジタル化に対して受け入れてくれるか不安。

従業員	50名~100名(アルバイト含む)
業種	製造業(食糧等)、製氷関連、など
事業内容	地域の農家等から仕入れた原料を自社工場で加工等を実施

お客様が業務で困っていること

- 近郊の工場・事業会社へ、素材原料の注文を実施。注文分を当社に納品し、加工。加工したものを販売先へ配送する業務を行う。このすべてがアナログ管理。



解決の方向性

改善要望

受注～納品までの一連をすべて
“紙”で実施しており、とても煩雑。

ベテランの勘や、言語化されていない
ノウハウが多く、事業承継に不安。

提案

アナログ業務をデジタル化する手段を提案

業務の流れ(業務フロー)の可視化を支援

可視化した業務内容を基に、
“どこ”を改善すべきか改善ポイントを意識合わせ

ノーコードツール(Kintone)の活用提案
(IT未経験者でもシステムを作れるツール)

自社の業務フローを全従業員で共通
認識持てる形で「可視化」

↓
可視化した業務フローから、ムダ・ムラ
となっている煩雑部分を抽出

↓
抽出した業務を改善する方法を、
ノーコードツールを用いた業務システ
ム化と定める

↓
Kintone導入に向けてプロジェクト
を組成

長野県内企業のデジタル化事例②

- 松本市で道の駅を営む今井恵の里様は、小売業・加工業・飲食店等の幅広い事業を展開しており、会計業務に課題を感じていた。



相談者:道の駅の駅長様

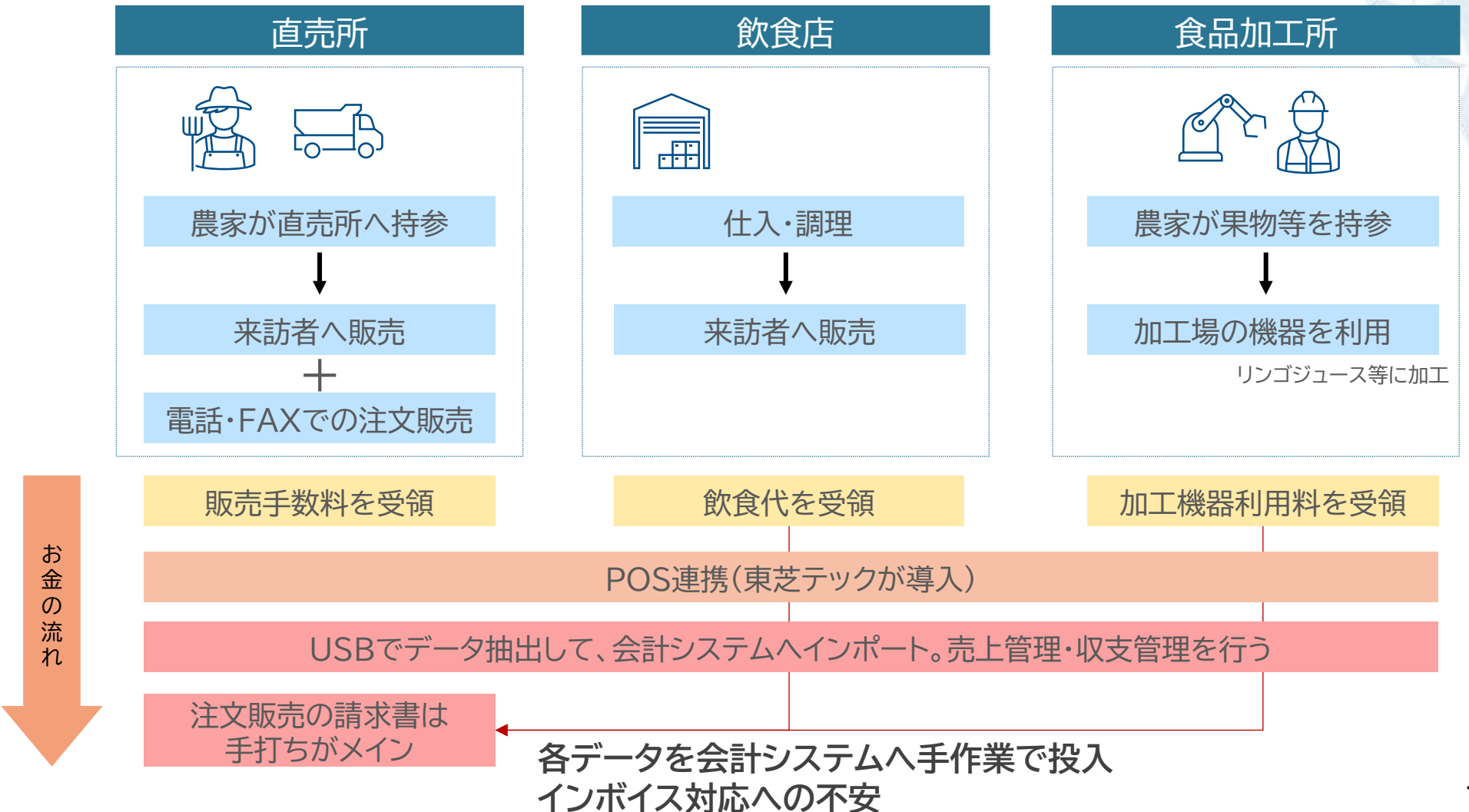
【相談内容】

- ① 自社の会計業務が煩雑で従業員負担が大きい
- ② 「インボイス制度」の対応が出来ているか不安
- ③ 対策をするにも人手がおらず
伴走支援をしてほしい

従業員	30名～40名(アルバイト含む)
業種	小売業、飲食業、
事業内容	道の駅「いまい恵の里」の運営。新鮮な野菜・果実等の販売と一部加工等も実施

お客様が業務で困っていること

- 直売所、飲食店、食品加工所の3つの事業を展開
- 3つの事業で各データを会計システムへ直接投入して収支を管理



解決の方向性

改善要望

小売・飲食・加工それぞれの会計データを従業員が「手作業」でシステム投入

インボイス制度が開始され、請求書の変更や電子保存の対応が未実施

※改善要望を踏まえて2種類以上の提案実施

提案

既存システムの更改

クラウド型
会計システムへ
freeeの
切り替え

会計業務に加えて、「経理業務(経費精算)」や「勤務管理」も改善したいというヒアリングを踏まえて選択

売上管理・支出管理など含めた会計業務が「デジタル」で実施可能に。
加えてインボイス対応も完了。

集計・承認・稟議など様々なプロセス業務が一体化したサービスのため、間接稼働も大きく削減。

クラウド型会計システムfreeeの紹介

デモ実演

導入支援、体制のイメージ合わせ

導入支援・導入のスケジュール調整

3

長野県デジタル化一貫支援サイトについて

サイトの特徴と使い方

長野県デジタル化一貫支援サイト



長野県デジタル化 一貫支援サイト

2024年12月20日オープン!

Nagano Digital Portal

長野県デジタル化 一貫支援サイト

長野県内のデジタル化・DX推進で
お困りのすべての方へ

ポータルサイトのターゲット①



小売業の経営者 50代男性（社員7名）

デジタル化そのものが未着手

ITスキル	基本的なパソコン操作はできるが、ソフトウェアの導入やクラウドサービスに対して不安を感じている。
DXに対する考え	新しい技術には慎重で、紙ベースの業務が多い。デジタル化によりどのようなメリットがあるかを具体的に理解していない。
課題	仕入れ～販売の一連の社内フローの効率化を図りたいが、既存のシステムを変えることへの抵抗感が強い。取引先からDXへの対応を求められているが、どこから手をつけるべきか悩んでいる。



宿泊業の経営者60代男性（社員10名）

IT活用の意欲があるか知識が不足

ITスキル	基本的なパソコン操作はでき、仕事でも活用できているが専門的なソフトウェアやクラウドツールは使っていない。
DXに対する考え	インバウンド需要もあり業界全体がデジタル化に向かっていることは理解しているが、自社でどのように活用できるかがイメージできていない。
課題	労働力不足に対する生産性向上のため、ITを活用した効率化を検討しているが、現場のスタッフのITリテラシーが低く、導入を進めることができていない。

ポータルサイトのターゲット②



地域の経営指導員 40代男性

デジタル化に関心あり、情報収集開始

ITスキル

基本的なパソコン操作はできるが、最新のトレンドや技術に対してキャッチアップに不安あり。ただ、ハード・ソフトともにデジタルについて問い合わせが増えてきていて、勉強しないといけないと思っている

DXに対する考え

地域の中小企業の人手不足や売り上げの拡大には「デジタル」が必要だと実感している。ただ、そのデジタルが情報があまりにも多く、複雑で取り扱いに困っている

課題

地域企業から、デジタル化の支援をしてほしいか？
という支援内容が増えてきたが、具体的な支援内容を言語化することが難しい

長野県デジタル化一貫支援サイト

中小企業の経営者

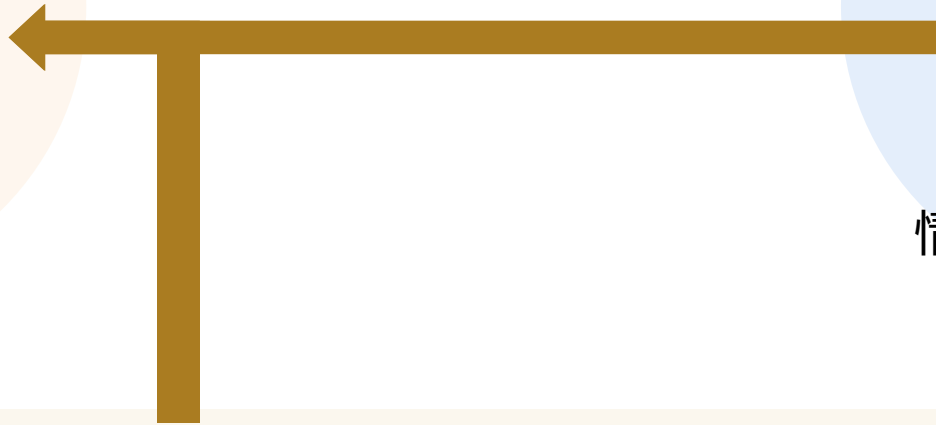


情報収集



ソリューション情報

伴走支援



県内の導入事例

経済団体・支援組織



情報収集・情報の一元化



支援施策

伴走支援窓口



長野県デジタル化
一貫支援サイト



長野県デジタル化一貫支援サイト

中小企業の経営者



抱える課題

- ① デジタル化に取り組みたいが、何をすればいいかわからない
- ② どういったソリューションが効果があるのか調べられない
- ③ 悩んだ時の支援策や助成金・補助金が知りたい
- ④ 課題の解決まで伴走をしてほしい



提供できる価値

- ① 県内のデジタル導入事例から「課題解決の方向性」が知れる
- ② ソリューションカタログから、欲しい情報が見つけれれる
- ③ 支援情報一覧から、補助金・助成金・セミナー情報を知れる
- ④ 相談窓口から専門家の伴走支援を受けれる



長野県デジタル化一貫支援サイト

サイトが提供できる価値

経済団体・支援組織



抱える課題

- ① 地域企業からソリューションのことを聞かれてすぐ返答をしなければならない
- ② 地域企業からソリューション導入までの伴走を求められているがすべて対応しきれない
- ③ 県内の幅広い支援情報を把握しきれず、地域企業へ紹介ができていない



提供できる価値

- ① ソリューションカタログから必要な情報を検索し、共有することができる
- ② 相談窓口から専門人材と連携した伴走支援ができる
- ③ 支援体制やセミナー情報を取りまとめているページを案内するだけで支援が完遂する



長野県デジタル化一貫支援サイト

サイトの内容(一貫支援とは)

機運醸成・啓発

診断
(現状把握)

技術習得

導入支援

(世の中の潮流を知る)

(自分の位置を知る)

(自社能力を高める)

(実際に取り入れる)

セミナー・勉強会
事例・最新情報発信

セミナー・勉強会
事例・最新情報発信

デジタル化推進講習
人材育成研修

導入支援・
デジタル化補助金

切り貼りした支援ではなく **一貫した支援体制** を整備

①機運醸成・啓発

01

機運醸成・啓発

デジタルを知り、長野県内のデジタル活用状況を知る

長野県内のデジタルツール導入の状況や、最新の技術を取り揃え
デジタル導入に向けた情報収集が出来ます。

ソリューションカタログ

人手不足を解決！会計業務を自動化

クラウド会計ソフト『freee』

業務効率化

コスト削減

業種共通

提供事業者：freee株式会社

こんなお悩みありませんか？

- 人手不足で、なかなか経理業務に手が回らない…
- 請求書処理やデータ入力など、時間のかかる作業に追われている…
- ミスが多く、会計データの精度に不安がある…
- 経営状況をリアルタイムに把握できず、迅速な経営判断が難しい…



▶ そのお悩み、クラウド会計ソフト『freee』で解決しましょう！



複雑なデータ管理を…



クラウド化・一元化



管理工数・人的コストの削減に！

対象になる補助金制度（※2024年08月現在）：IT導入補助金2024、ものづくり補助金

❓ クラウド会計ソフトとは？

クラウド会計ソフトは、インターネットを通じて使える会計ソフトです。データがオンライン上に保存されるため、どこからでもアクセスでき、複数のパソコンやユーザーで同時に使えます。経理作業が効率化され、データが自動で更新されるほか、セキュリティも強化されるため、特に中小企業に向けています。

❓ freeeとは？

freeeは、中小企業や個人事業主向けに作られたクラウド型の会計ソフトです。簿記や会計の専門知識がなくても、簡単に経理作業ができるのが特徴です。銀行口座やクレジットカードと連携して、取引データを自動で取り込むことで、毎日の経理作業を楽にします。また、税務申告のサポート機能があり、確定申告や決算の処理もスムーズに進められます。

❓ freeeの特徴や他ツールとの違い

このソフトはインターネット経由で使えるため、場所や時間を問わずに利用できます。さらに、他の業務システムとも簡単に連携できるため、業務全体を効率化し、会計データの正確さを高めます。また、直感的に操作できるデザインにより経理の専門知識がなくても簡単に扱える点が、他ツールとは異なる大きな特徴です。

導入で期待できる効果

- 請求書処理の自動化による業務時間の削減
→ 請求書処理の時間が最大80%の時間削減効果
- 銀行口座との自動同期による転記業務の削減
→ 振簿合算の際に転記のミスがなくなり正確性も向上
- リアルタイムな経営状況の把握による経営判断の迅速化
→ 領収書などの取引データにより的確な経営判断を実現

類似のソリューション例



弥生会計
オンライン



ジョブカン 会計

freeeはfreee株式会社の関係登録です。
マネーフォワードクラウドは株式会社マネーフォワードの関係登録です。
弥生会計オンラインは弥生株式会社の子会社です。
関連するクラウドは株式会社オージックビジネスコンサルティングのサービスです。
ジョブカン会計は株式会社ジョブカン会計のサービスです。

- 企業課題を解決するソリューションを選定
人手不足で業務に手が回らない
新しい技術の導入を進めたい
既存の紙業務をクラウド化したい
- 専門性に特化しすぎず、幅広い課題を解決するソリューションを選定
- 親近感が湧くように(自分事化しやすいように)長野県内で利用実績のある事例などを集中的に掲載



デジタル化事例

スケジュール管理も申請業務も一元化！

“効率”と“余裕”を生み出す
グループウェアソリューション

導入ソリューション
NI Collabo 360

グループウェア「NI Collabo 360」を活用して業務効率化を推進。スケジューラーのオンライン化や、申請業務・ワークフローのオンライン化に成功



- カタログにあるソリューションを具体的に活用している長野県内企業の事例を紹介
- 導入時の工夫点・苦労点を中心に、カタログを読んだ企業が、「自分たちが導入するときに何を気を付ければよいか？」がわかる内容を作成
- 事例から関心を持つソリューションを見つける方法も可能

②診断

02

診断 (現状把握)

自社のデジタル活用状況を可視化し、活用の方向性を知る

デジタル導入の前にデジタル導入状況を可視化し、
診断（フィードバック）をすることでデジタル活用の方向性を明確にします。

診断の方法(外部サイト)

「みらデジ経営チェック」でできること

1 業界水準と照らし合わせることで あなたの会社の現状がわかる！

いくつかの設問に回答いただくことで、同地域・同業種の他社とも比較した自社の経営課題・デジタル化の進捗状況を知ることができます。

チェック結果に基づいた、支援施策やおすすめのITツールなどのアドバイスを結果画面上で確認することも可能です。



③技術習得

03

技術習得

自社に不足している情報・スキルを学ぶ、研修を把握する

デジタルに関する知識や活用するためのスキルを
学ぶ場所を知り、学びへの導線に繋がります。

補助金などの支援情報

補助金・支援情報一覧



長野県内の補助金を
中心にラインナップ

支援情報

2024年12月12日

IT導入・デジタル化支援 専門家派遣



締切：遷移先にてご確認ください
対象：中小企業 小規模事業者が対象

中小企業・小規模事業者へ、IT導入・デジタル化を進める上でのアドバイスや手順等を専門家を派遣し支援

長野県 IT活用

支援情報

2024年12月12日

長野市 無料相談会



締切：遷移先にてご確認ください
対象：遷移先にてご確認ください

自社のデジタル化やDXに関するお困りごとの無料相談（日本IBMへの相談）

北信地域 IT活用

補助金

2024年12月12日

飯田市ICT産業立地事業 補助金



締切：遷移先にてご確認ください
対象：飯田市内の事業者

市内でICT関連事業を営む事業者に対する3年間の賃料、改修費用を補助

南信地域 IT活用

補助金

2024年12月12日

伊那市特定創業者・IT事 業者開業支援事業補助金



締切：遷移先にてご確認ください
対象：伊那市内の事業者

市内でIT産業を創業する事業者に対し手補助金を交付

IT活用 南信地域

セミナー・イベント情報

長野県内のセミナーを中心にラインナップ

セミナー・イベント情報



セミナー

2024年12月12日

デジタルリテラシー人材育成研修（全8回）



開催日：令和6年11月1日～令和7年2月18日

開催地：松本ものづくり産業支援センター 研修室2（ハイブリッド形式）

デジタル知識を活用して実際の企業の現場で課題の解決策を提示・実行できる人材を育成する研修を開催します。

中信地域

IT活用

セミナー

2024年12月12日

未来を切り開くデジタル化入門セミナー



開催日：令和6年11月19日

開催地：松本商工会館6階601会議室（ハイブリッド形式）

中小・小規模事業者に求められ続ける自社のデジタル化について、何から取り組めばよいのかをわかりやすく説明。

中信地域

IT活用

セミナー・イベント情報

セミナー・イベント情報



セミナー

2024年12月12日

クラウド会計セミナー



開催日：令和6年11月19日

開催地：飯田商工会館1階 商店街交流ホール

デジタル化の現状を知りバックオフィスの効率化方法など学ぶ。実践編はクラウド会計システムの活用方法を学ぶ

南信地域

業務効率化

IT活用

セミナー

2024年12月12日

IoT導入人材育成講座 ChatGPT研修



開催日：令和6年11月14日

開催地：「allla（アルラ）」

AIチャットツールであるChatGPTを使って、日々の業務にどのように活用できるか学ぶための研修

南信地域

IT活用

支援団体の紹介

県内の支援体制一覧



長野県産業振興機構

NICE

公益財団法人長野県産業振興機構 [🔗](#)

新製品・サービスの開発や販路開拓等
様々な経営課題を解決したい方

県内中小企業の経営・技術・IT・創業・資金・販路拡大等の様々な課題解決の支援を提供。



長野県よろず支援拠点

YOROZU
NAGANO

長野県よろず支援拠点 [🔗](#)

経営・販売拡大など事業課題を相談したい方

各都道府県に1ヶ所ずつ、地域の商工会議所・商工会、金融機関、大学等の支援機関と連携しながら、小規模事業者・中小企業が抱える様々な経営相談に対応。

ながの産業支援
ネット

\\ BUSINESS SUPPORT 67 //

ながの産業支援ネット [🔗](#)

お近くの支援機関を知りたい方

長野県内の「産・学・官・金(金融機関)」の四分野に亘る67の支援機関、全てが相談窓口となり、最適な支援機関に相談者をつなげ、総合的な一貫支援を提供。

④導入支援

04

導入支援

実際にデジタルを取り入れる際の支援を受ける

導入に向けた支援を受けることができます。

④導入支援

04

導入支援

実際にデジタルを取り入れる際の支援を受ける

導入に向けた支援を受けることができます。

中小企業の経営者



長野県デジタル化
一貫支援サイト



オンライン相談 / 電話相談



専門人材

不明点や伴走を依頼したい場合はこちらへ連絡

相談の流れ



【問合せ種別】

- ①ポータルサイトに対する質問
 - ↳掲載情報について・情報の掲載依頼について
 - ↳例:この事例の課題解決方法って具体的には…?
- ②支援依頼
 - ↳困りごとの共有～解決の方向性・取次先の提示

【問合せ種別】

- ①経営指導員様向け
- 相談例)①ポータル使い方(取次先はどこ?)
- ②掲載している情報について(このカタログは…)
 - ③具体的なユーザーの紹介

Webからの申し込み

お問い合わせの内容をお伺いします。

お問い合わせの目的 必須

お問い合わせの目的を選択してください。

目的を選択してください。



ご希望の返信方法 必須

ご希望の返信方法を選択してください。

返信方法を選択してください。



お問い合わせ内容 必須

お問い合わせの具体的な内容をご入力してください。

例) デジタル化に関するセミナーを受講したいが、どの講座を受講すれば判断ができないので、違いについて伺いたい。補助金について利用を検討しているがどの窓口にご相談すればよいかわからない。

サイトのレイアウト

ナビゲーションバー(ほしい情報にすぐアクセス)



このサイトに
ついて

ソリューション
一覧

デジタル化
DX事例

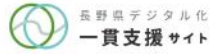
補助金
支援情報

セミナー
イベント情報

よくある
質問

デジタル
経営診断

相談窓口
お問い合わせ



Nagano Digital Portal

長野県デジタル化 一貫支援サイト

長野県内のデジタル化・DX推進で
お困りのすべての方へ



お知らせ

相談窓口・お問い合わせ

スマートフォン版

長野県デジタル化
一貫支援サイト

Nagano Digital Portal

**長野県デジタル化
一貫支援サイト**

長野県内のデジタル化・DX推進で
お困りのすべての方へ

このサイトについて
ソリューション一覧
デジタル化・DX事例
補助金・支援情報
セミナー・イベント情報
デジタル経営診断
相談窓口・お問い合わせ
よくある質問
運営団体

チラシからもログインが可能

人手不足を解決！会計業務を自動化

クラウド会計ソフト『freee』

業務効率化 コスト削減 業種共通

提供事業者：freee株式会社

こんなお悩みありませんか？

- 人手不足で、なかなか経理業務に手が回らない…
- 請求書処理やデータ入力など、時間のかかる作業に追われている…
- ミスが多く、会計データの精度に不安がある…
- 経営状況をリアルタイムに把握できず、迅速な経営判断が難しい…



そのお悩み、クラウド会計ソフト『freee』で解決しましょう！



対象になる補助金制度（※2024年08月現在）：IT導入補助金2024、ものづくり補助金

❓ クラウド会計ソフトとは？

クラウド会計ソフトは、インターネットを通じて使える会計ソフトです。データがオンライン上に保存されるため、どこからでもアクセスでき、複数のパソコンやユーザーで同時に使えます。経理作業が効率化され、データが自動で更新されるほか、セキュリティも強化されるため、特に中小企業に向いています。

❓ freeeとは？

freeeは、中小企業や個人事業主向けに作られたクラウド型の会計ソフトです。簿記や会計の専門知識がなくても、簡単に経理作業ができるのが特徴です。銀行口座やクレジットカードと連携して、取引データを自動で取り込むことで、毎日の経理作業を楽にします。また、税務申告のサポート機能があり、確定申告や決算の処理もスムーズに進められます。

❓ freeeの特徴や他ツールとの違い

このソフトはインターネット経由で使えるため、場所や時間を選ばずに利用できます。さらに、他の業務システムとも簡単に連携できるため、業務全体を効率化し、会計データの正確さを高めます。また、直感的に操作できるデザインにより経理の専門知識がなくても簡単に扱える点が、他ツールとは異なる大きな特徴です。

導入で期待できる効果

- 請求書処理の自動化による業務時間の削減
→請求書処理の時間が最大80%の時間削減効果
- 銀行口座との自動同期による転記業務の削減
→帳簿突合の際に転記のミスがなくなり正確性も向上
- リアルタイムな経営状況の把握による経営判断の迅速化
→領収書などの取引データにより的確な経営判断を実現

類似のソリューション例



freeeはfreee株式会社の商標登録です。
マネーアワードクラウドは株式会社マネーアワードの商標登録です。
弥生会計オンラインは弥生株式会社の子会社です。
勤怠銀行クラウドは株式会社勤怠銀行の子会社です。
ジョブカン会計は株式会社ジョブカンの子会社です。

- こちらのQRコードからアクセス
- 外出先でも「カタログ」さえあれば閲覧可能
- お客様のスマホをかざすだけ



掲載事例の紹介

ノーコードツールで業務効率化！

従業員稼働の削減、間接業務の削減、ペーパーレスを実現！

導入ソリューション
Kintone

ノーコードツール「Kintone」を活用して業務効率化を推進。既存業務を効率化する300のアプリを作成し、従業員の細かな業務を軽減。業務負担軽減から生産性を高め、働きやすい職場づくりに成功！



株式会社モリビ - ノーコードツール「Kintone」導入事例

掲載事例の紹介

クラウド会計ソフトで効率化！

**デジタルの力で
社員の業務負担軽減を実現！**

導入ソリューション
free会計

経理の効率化のためクラウド型「free」を導入。
複数の担当者が同時に作業できる環境を整え、
業務の効率化を実現しました。



株式会社今井恵の里 - クラウド会計ソフト「free」導入事例

掲載事例の紹介

スケジュール管理も申請業務も一元化！

“効率”と“余裕”を生み出す グループウェアソリューション

導入ソリューション
NI Collabo 360

グループウェア「NI Collabo 360」を活用して業務効率化を推進。スケジュールのオンライン化や、申請業務・ワークフローのオンライン化に成功



株式会社ヤマサ – 業務効率化サービス「NI Collabo 360」導入事例

ソリューションカタログの活用方法

① 人手不足を解決！会計業務を自動化
クラウド会計ソフト『freee』

業務効率化 コスト削減 業種共通

提供事業者：freee株式会社

② こんなお悩みありませんか？

- 人手不足で、なかなか経理業務に手が回らない…
- 請求書処理やデータ入力など、時間のかかる作業に追われている…
- ミスが多く、会計データの精度に不安がある…
- 経営状況をリアルタイムに把握できず、迅速な経営判断が難しい…

そのお悩み、クラウド会計ソフト『freee』で解決しましょう！

③ 煩雑なデータ管理を… クラウド化・一元化 管理工数・人的コストの削減に！

対象になる補助金制度（※2024年08月現在）：IT導入補助金2024、ものづくり補助金

④ クラウド会計ソフトとは？

クラウド会計ソフトは、インターネットを通じて使える会計ソフトです。データがオンライン上に保存されるため、どこからでもアクセスでき、複数のパソコンやユーザーで同時に使えます。経理作業が効率化され、データが自動で更新されるほか、セキュリティも強化されるため、特に中小企業に向いています。

④ freeeとは？

freeeは、中小企業や個人事業主向けに作られたクラウド型の会計ソフトです。簿記や会計の専門知識がなくても、簡単に経理作業ができるのが特徴です。銀行口座やクレジットカードと連携して、取引データを自動で取り込むことで、毎日の経理作業を楽にします。また、税務申告のサポート機能があり、確定申告や決算の処理もスムーズに進められます。

④ freeeの特徴や他ツールとの違い

このソフトはインターネット経由で使えるため、場所や時間を問わずに利用できます。さらに、他の業務システムとも簡単に連携できるため、業務全体を効率化し、会計データの正確さを高めます。また、直感的に操作できるデザインにより経理の専門知識がなくても簡単に扱える点が、他ツールとは異なる大きな特徴です。

⑤ 導入で期待できる効果

- 請求書処理の自動化による業務時間の削減
→請求書処理の時間が最大80%の時間削減効果
- 銀行口座との自動同期による転記業務の削減
→帳簿合算の際に転記のミスがなくなり正確性も向上
- リアルタイムな経営状況の把握による経営判断の迅速化
→領収書などの取引データにより的確な経営判断を実現

⑥ 類似のソリューション例

弥生会計 オンライン ジョブカン 会計

freeeはfreee株式会社の商標登録です。
マネーフォワードクラウドは株式会社マネーフォワードの商標登録です。
弥生会計オンラインは弥生株式会社の子会社です。
特定向けクラウドは株式会社エーミックビジネスソリューションズのサービスです。
ジョブカン会計は株式会社ジョブカン会計のサービスです。

⑦ 長野県デジタル化一貫支援サイト

導入のお問い合わせはこちら

Copyright©2024 Nagano Prefecture All Rights Reserved.

- ① ツール名
- ② 企業が抱える悩み・課題
- ③ 導入～効果のスリーステップ
※対象補助金
- ④ ツールの概要と他との比較
- ⑤ 3つの導入の効果
- ⑥ 類似ソリューション例
- ⑦ 気になる方はサイトへ

最後に

ソリューション情報

県内の導入事例

セミナー・勉強会

伴走支援窓口



長野県デジタル化
一貫支援サイト



どんな些細なことでも問題ありません。
是非お問い合わせくださいませ。

長野県デジタル化一貫支援サイト運営事務局：山崎・喜屋武